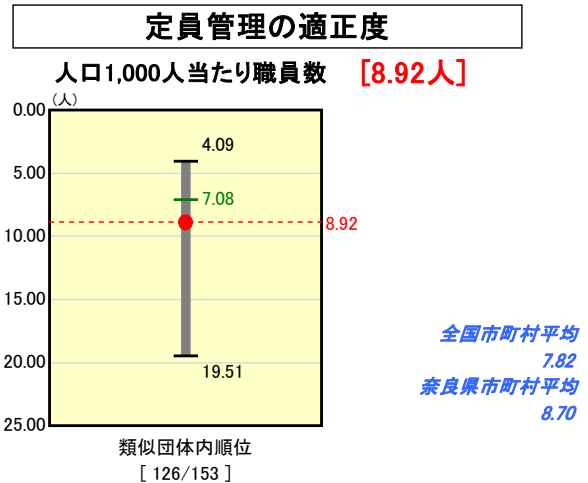
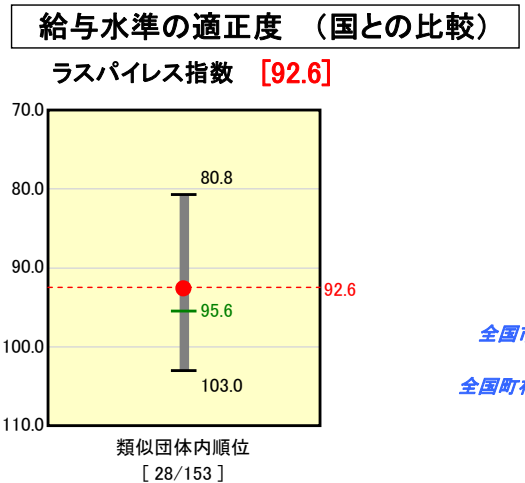
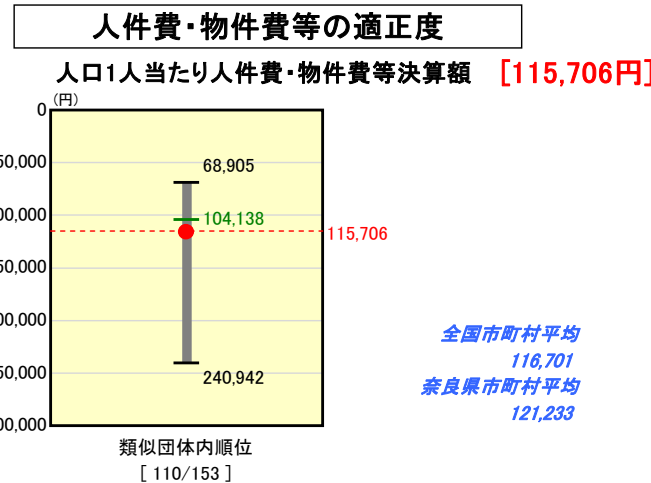
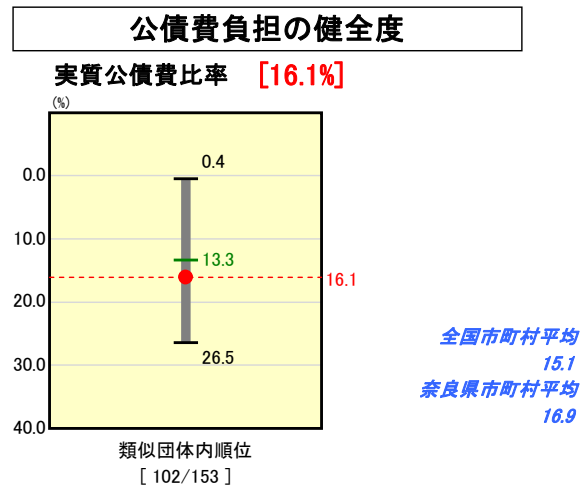
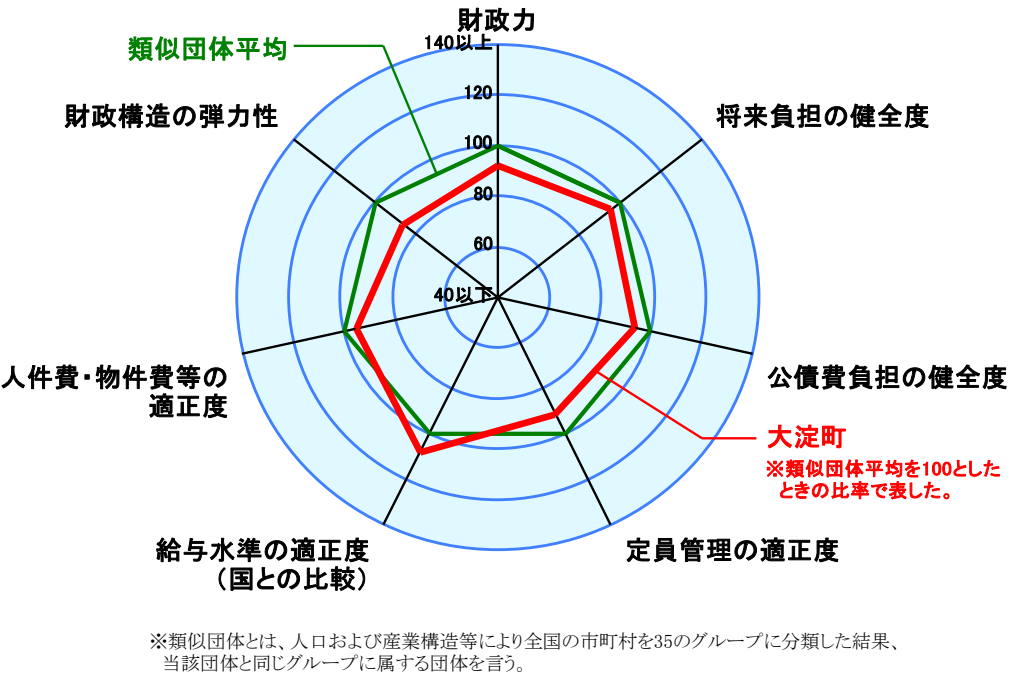
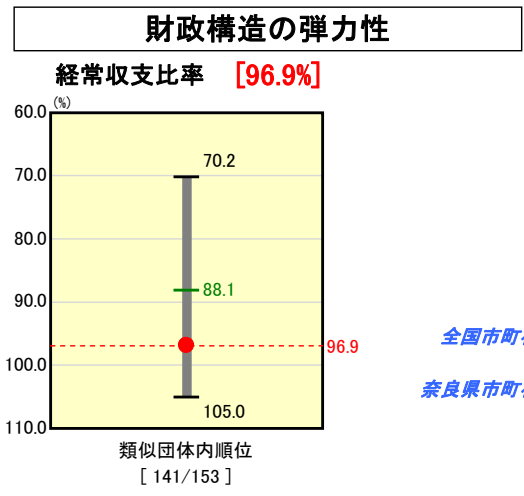
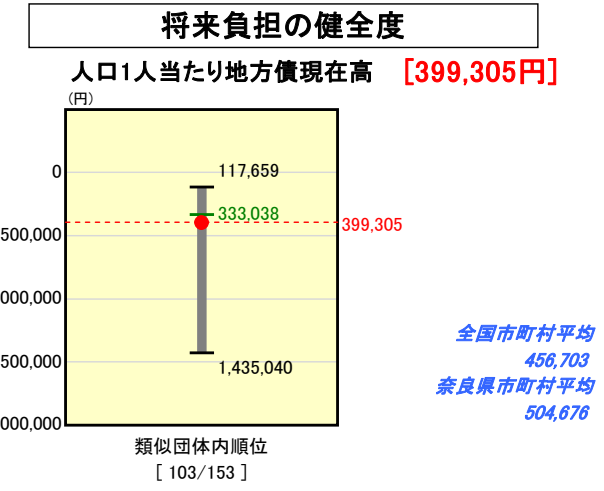
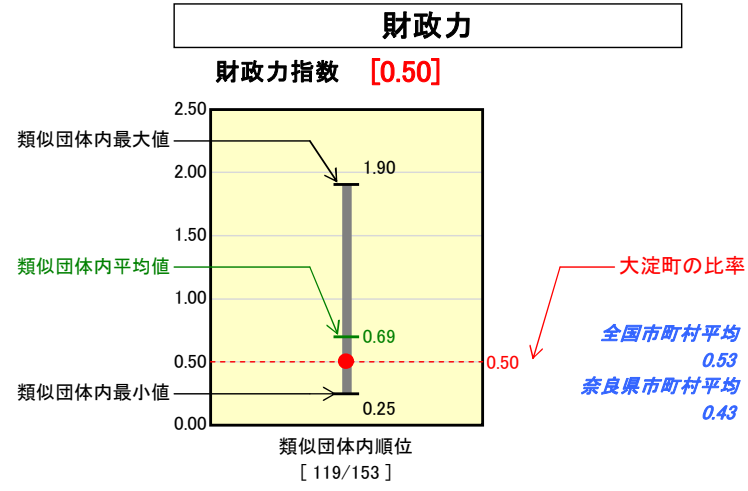


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

奈良県 大淀町

人口	20,399 人(H19.3.31現在)
面積	38.06 km ²
歳入総額	8,339,082 千円
歳出総額	7,979,669 千円
実質収支	59,212 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
長引く景気の低迷による個人・法人町民税の減収及び地価の下落に伴う固定資産税の減収など歳入の減少により、類似団体平均を下回っている。財政健全化計画に基づき、これまで以上に早期収納の推進や滞納整理の強化を進め、徴収率の向上を図るとともに、投資的経費を抑制し、歳出に徹底的な見直しを行い、財政基盤の強化に努める。

経常収支比率
扶助費、補助費等及び公債費の増加により類似団体平均を上回っている。平成17年度に策定した行政改革の取り組みを検証し、見直すとともに町税等の自主財源の確保や負担金、手数料等の見直しを行い、更なる経費の節減合理化により経常経費の削減に努める。

人口一人当たりの人件費・物件費等決算額
類似団体平均をやや上回っているが、概ね適正な水準といえる。組織・機構を見直し職員定数の削減を図るとともに、民間委託へ移行できる業務を精査し、全般的な経費の抑制を行う。

人口1000人当たりの職員数
類似団体を上回っている。今後、定員適正化計画に基づき職員数の削減を図ることにより、適正な水準を維持できるよう努める。

ラスパイレス指数
全国市町村平均や類似団体平均と比較するとやや低いが、概ね適正な水準といえる。学歴別にみると大卒者の水準が低いがこれは初任給基準が低いことによるもので、現状で根本的な改善を望むことは困難である。今後、定員適正化計画に基づき職員数の削減を図ることにより構成職員の平均年齢の上昇が予測されるが、各種手当等の点検を行うなど、更なる給与の適正化に努めることにより、適正な水準を維持していく。

人口一人当たりの現在高
類似団体平均よりやや上回っているが、平成18年度で文化会館整備にかかる償還が終了することに伴い、公債費が減少するため、改善する見込みである。今後は、特定財源のない事業については十分精査して行う。

実質公債費比較
普通建設事業に係る起債の元利償還等に伴い、類似団体平均を上回っている。平成18年度で文化会館整備にかかる償還が終了することに伴い減少に転ずると見込まれるが、今後とも新規発行の抑制に努めていく。